

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会
事務局：萩市ジオパーク推進課
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

萩ジオマスター講座 45名の萩ジオマスターが誕生

9月末から3ヵ月半に渡って開催されてきた「萩ジオマスター講座」。ついに1月14日（日）に最後の講座と修了式が開かれ、無事に終了を迎えました。

午前中には選択講座⑥「萩城下町はどうしてできた」と題し、萩ジオパーク構想推進協議会のジオパーク支援員でもある樋口尚樹氏を講師に迎え、講義と城下町散策を実施しました。講義では3つのマグマの活動が萩の大地をつくり、それによって農業、漁業、林業、石材業、萩焼など様々な産業が生まれ、城下町が成り立ったという話を聞きました。城下町の散策では、高低差を意識することで阿武川河口の三角州上につくられた町であることを実感できました。最後の講座にふさわしく、これまで12回の講座で学んできた、萩の大地と人のつながりの集大成とも言えるべき回となりました。

午後には修了式が開かれ、全講座の振り返り、修了証の授与、萩ジオマスター宣言などが行われました。協議会会長である藤道萩市長にも駆けつけていただき、萩ジオマスターとして、これから萩の大地と人のつながりの面白さを多くの人に広めていって欲しいと、激励の言葉をいただきました。最後には、ジオパークという単語を使わずに、あなたにとってのジオパークとは何か を一人ひとりが色紙に書き、参加者全員で記念撮影をしました。

総申込者数は113名にもなった今回の萩ジオマスター講座は大好評のうちに幕を閉じました。修了式後に開かれた茶話会では、今回の講座で知り合った者同士のつながりを大切にしたいという声上がり、新しいグループが誕生しようとしています。また、2月からは萩ジオパーク構想を楽しませる側の人材を育成する講座（萩ジオプランナー養成講座、萩ジオガイド養成講座）が始まります。今後ますますの盛り上がりにご期待ください。



(色紙を手に記念撮影の講座修了者のみなさん)

萩市大島まるまる体験ツアー

1/21 (日)

萩市大島では今、ブロッコリー収穫が盛んです。1月21日(日)、大島元気なねえさまの会主催で、「大島まるまる体験ツアー～ブロッコリーの収穫体験とソバぼたもちづくり体験～」が開催されました。

郷土料理であるソバぼたもちは、米が少なく畑作としてソバの栽培が盛んである島ならではの菓子。昼食は農作業で忙しい農家がおかずを用意しなくても一品でおなかがいっぱいになる料理として伝わる「まぶり飯」と特産ブロッコリーを使ったメニュー。県下1位のブロッコリー出荷量を誇り、小さな島の大きなブロッコリーとポップに表記してもらおうそう。参加者は潮風が運ぶミネラル豊富な大地で育つ、茎の直径5cmを超える立派なブロッコリーを袋いっぱい詰めました。その後、ねえさまのガイドで島内散策をし、大島の土地にあわせた暮らしを見て歩きました。その後公民館に戻り、ジオパーク講話として、作ったソバぼたもちを大島に見立てて、白井専門員が少しお話をいただきました。

今回のイベントは、島の有する自然や歴史、食などの地域資源を活用した都市・農山漁村交流を推進する目的で企画されています。大地と人のつながりを体験できるプログラムとしてねえさまたちとも繋がっていきたいと思っています。



(台上のブロッコリー畑)



(散策の様子)



(ソバぼたもち)

ジオ・カメラ散歩

*学校での取り組みを写真で紹介します。



学校の校歌には、その土地の特徴的な自然や風物が歌い込まれています。佐々並小学校では、校歌の歌詞を書き出して、校内のジオパークコーナーに掲示しています。



1年生が総合の学習で、地域の方から「よめなきってなあに？」とふるさとの地名の由来を教えてくださいました。その成果を学習発表会で発表しました。(越ヶ浜小学校)

お菓子なジオパークめぐり

～はぎジオカフェの話題から～

毎月第3木曜日に開催している「はぎジオカフェ」では、全国のジオパークからお菓子をお取り寄せしています。このコーナーでは、各地のお菓子と大地の成り立ちの関係をご紹介します。

えぐり舟 (男鹿半島・大瀧ジオパーク)

男鹿半島の海岸沿いの岩場では、日本が大陸の一部だったことから、日本海が形成されていく地球活動の記憶に触れることができます。この地域の漁師は岩礁が多く波が荒い海での作業のため、一本の丸太をくりぬいた「えぐり舟 (丸木舟)」を使っていました。「えぐり舟」はその名の通り、えぐり舟をイメージして作られたお菓子です。



硫黄島のご地層 (三島村・鬼界カルデラジオパーク)

3つの島からなる三島村のうち、硫黄島と竹島は、過去1万年間で地球最大規模の噴火を起こした火山の痕跡である「鬼界カルデラ」の縁に位置しています。「硫黄島のご地層」は硫黄島の海岸で見られる鬼界カルデラの崖の風景をイメージしており、鉄分を多く含む温泉水の影響でオレンジ色になった海、カルデラの壁の茶色、崖の上の竹林の緑を表しています。



2月の予定

○第11回日本ジオパークネットワーク全国研修会 2月1日(木)～2日(金)
会場：箱根ジオパーク 内容：ジオパークが目指す持続可能性とESD 主催：箱根ジオパーク推進協議会・日本ジオパークネットワーク・文部科学省

○萩ジオプランナー養成講座(兼萩ジオガイド養成講座(2/3のみ)) 2月3日(土) 9:30～16:00 会場：萩・明倫学舎、虎ヶ崎椿群生林 内容：伝わるガイド技術研修【入門】 講師：菊間彰・一般財団法人をかしや代表理事/2月4日(日) 9:30～16:00 会場：萩・明倫学舎 内容：地球目線で萩を楽しませるためのガイダンス・思考・発想・開発・企画の訓練 講師：柚洞一央・徳山大学准教授 対象：萩ジオマスター 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)

○日本一おもしろい火山体験ツアーin 笠山をみんなでつくろう ①2月13日(火) 13:30～15:00 ②2月14日(水) 19:00～20:30 会場：越ヶ浜介護予防センター 内容：①山頂で提供するプログラムとは、②笠山・越ヶ浜のジオストーリーをみんなで考える。主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)

○はぎジオカフェ 2月15日(木) 18:30～20:00 会場：萩ゲストハウス ruco (萩市唐樋町92)、参加費：200円(飲み物代は別途)、主催：萩ジオパーク構想推進協議会 申込み：前日までに萩市ジオパーク推進課(電話：0838-21-7765) ※全国のジオパークからお菓子をお取り寄せ。どこのジオパークかは当日までヒミツ。

○萩ジオパーク構想推進協議会教育・普及部会 2月16日(金) 15:00～16:30 会場：萩・明倫学舎 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)

○日本ジオパークネットワーク中四国近畿ブロック会議 2月20日(火)～22日(木) 会場：四国西予ジオパーク 内容：ジオサイト見学と意見交換 主催：日本ジオパークネットワーク中四国近畿ブロック会

○長門峡ジオツアー「古徳佐湖の謎を追え」 2月25日(日) 9:00～16:00(雨天決行) 集合場所：長門峡道の駅 内容：古徳佐湖の痕跡を辿るバスツアーとジオパークとしての楽しみ方を語るワークショップ 参加費：3,000円(昼食代・バス代含む) 持参物：筆記用具、双眼鏡(あれば)、雨具など 定員：40人 主催：あとうスロー・ツーリズム推進協議会 申込み・問合せ：NPO あとう(あとう観光協会)(083-956-2526)